

担当：札幌市消費者センター調査指導係  
TEL 728-2111 FAX 728-2112

## 平成 24 年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の物価の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、生活関連商品価格動向懇談会を開催し、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

### 記

#### 1 協力を得た業界団体及び事業者

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| (1) 丸果札幌青果(株)     | (5) 北海道製麺協同組合           |
| (2) カネシメ高橋水産(株)   | (6) 札幌地方石油業協同組合         |
| (3) 札幌食肉卸業協会      | (7) (一社)北海道 LP ガス協会石狩支部 |
| (4) ホクレン農業協同組合連合会 |                         |

#### 2 調査時期

平成 24 年 12 月上旬 (平成 24 年 12 月 7 日、上記団体と懇談会を実施)

#### 3 概要

##### (1) 青果物

調査品目の 18 品目中、安値・やや安値は 4 品目、前年並みは 9 品目、高値・やや高値は 5 品目であった。なお、葉物系は寒さの影響から高値傾向で推移している。また、みかんは裏年のため高値であるが、味は優れている。

##### (2) 水産物

調査品目の 14 品目中、やや安値は 3 品目、前年並みは 4 品目、高値・やや高値は 7 品目であった。なお、秋さけは、水揚げが昨年から引き続き前年比 10%以上の減産になったことからやや高値となる見込み。また、調査品目ではないが、アルゼンチン赤えび、冷凍ばちまぐろ、ぶりについては、安値となっている。

##### (3) 畜産物

調査品目の 7 品目中、高値・やや高値は 4 品目、前年並みは 3 品目であった。高額な商品は売れない環境ではあるが、年末・年始については、需要も伸びる傾向となっている。

##### (4) その他食料品

黒豆はやや安値であるが、もち米、鶏卵、生そば、そば粉、ラーメンは平年並みとなる見込み。

##### (5) 石油製品

全ての石油製品について前年並みとなる見込み。また、在庫量は充分にあり供給不足の懸念はない。

平成 24 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

(札幌市消費者センター)

	安値	やや安値	前年並み	やや高値	高値
青果物	ばれいしょ・ たまねぎ	れんこん・ さつまいも	生しいたけ・にんじん・ ごぼう・里いも・ だいこん・きゃべつ・ はくさい・長ねぎ・ きゅうり	たけのこ・ ほうれん草・	みかん・ みつば・ レタス
水産物	(アルゼンチン赤 えび)・ (冷凍ばち まぐろ) (ぶり)	はまち・ ほたて・ たらばがに	まぐろ・いか・ スモークサーモン・ 板かまぼこ	新巻さけ・ 味付数の子・ 飯寿司・ こんぶ	いくら・ 赤えび・ たこ
畜産物			国産豚肉・輸入豚肉・ ロースハム	輸入牛肉・ 国産鶏肉・ 輸入鶏肉	国産牛肉
その他 食料品		黒豆	もち米・鶏卵・生そば・ そば粉・ラーメン		
石 油 製 品			灯油・レギュラーガソリン・ 軽油・プロパンガス		

※ 価格見通しの用語基準

- 前年並み = 前年同期比±5%未満  
 やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満  
 安値・高値 = 前年同期比±15%以上

平成24年度 年末年始における (札幌市消費者センター)  
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向	
青	みかん	高値	和歌山産が主力で広島・佐賀・愛媛産の入荷。今年は裏年で作況は中生・普通みかん共に前年の90%前後の入荷見込み。生育期は干ばつ傾向で小玉であったが、10月以降の雨の影響により玉太りし、M中心の入荷見込み。価格は前年に比べ高値の見込み。	
	生しいたけ	前年並み	作付は前年並みの見込み。作況は生育良好で前年並みの入荷が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。	
	にんじん		千葉・埼玉産が主力の入荷。作況は夏の播種期に高温や局地的豪雨があり、一部蒔き直し地区がある。以後、遅れを取り戻せずに肥大不足の傾向である。入荷量は前年をやや下回る見込である。価格は前年並みが見込まれる。	
	ごぼう		道内産は、石狩・後志・十勝・胆振地方が中心で全道一円からの入荷。作付は各産地とも前年並み。作況は生育期の天候に恵まれ太物が多くL・Mサイズ中心の入荷となる見込み。価格は太物は前年より単価安、細物は前年より単価高が見込まれる。	
果	れんこん	やや安値	茨城産主力の入荷で作付はやや増。作況は生育良好である。入荷量は前年より増になり、前年並みの入荷が見込まれる。価格はやや安値が見込まれる。	
	里いも	前年並み	九州地方(宮崎・熊本・鹿児島産)は作付増で作況及び入荷は順調な見込み。埼玉産の作付は前年並み。作況は玉伸びも2L中心と前年並み。全体的に白芽が中心の作付である。赤芽・セレベスは減少傾向。価格は前年より前年並みが見込まれる。	
	物	みつば	高値	(軟白みつば)作付は減少傾向。作況は夏場の高温、長雨の影響により道南方面は不作で入荷量は大幅減少。上川方面はやや不作で入荷量はやや減少。(刈みつば・水耕みつば)作付・作況共に前年同様の見込み。価格は高値が見込まれる。
		だいこん	前年並み	(千葉産)作付は前年並み。作況は生育期の天候も良く、若干前進傾向である。(神奈川産)作付は前年並み。順調な入荷の見込み。(静岡産)作付は前年比やや減少。作況は良好。12月下旬頃からの入荷予定。価格は前年並みの見込み。
	たけのこ(缶詰)	やや高値	中国産中心の入荷。入荷量は前年並みが見込まれる。価格はやや高値の見込み。国産(九州産)は数量が少なく、価格は高値の見込み。	

平成24年度 年末年始における (札幌市消費者センター)  
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
青	きゃべつ	前年並み	(北海道産・上川) 定植後の高温・干ばつにより小玉傾向である。年内は順調な入荷が見込まれる。 (愛知産) 作柄も良く大玉傾向である。春系・冬系共に順調な入荷が見込まれる。 (茨城産) 作柄も良く順調な入荷が見込まれる。 作付・価格は総じて前年並みが見込まれる。
	はくさい		茨城産主力の入荷で作付は前年並み。作況は生育順調で、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
	ほうれん草	やや高値	群馬産主力の入荷で作付は前年並み。作況も良好で順調な入荷が見込まれる。価格はやや高値が見込まれる。
果	ばれいしょ	安値	北海道産(後志・十勝他)の貯蔵物の入荷。作況は秋の収穫期の高温・干ばつにより休眠が不十分で現状発芽が見られ、収穫量は多かったが腐敗等が多く貯蔵量は前年並みか下回る見込み。価格は需要回復も当面見られず前年より安値で推移する見込み。
	たまねぎ		北海道産(石狩・上川・網走・空知)の貯蔵物の入荷。作況は各産地とも肥大傾向であり、収穫量は概ね良好。入荷量は前年より増加し、前年並みが見込まれる。価格は前年に比べ安値が見込まれる。
	長ねぎ	前年並み	(埼玉産) 作付は前年並みで作柄は良好だが、生育期の天候不順により、やや細めが懸念される。 (秋田産) 作付は前年並みで作況は生育期の天候不順によりやや悪く、入荷量は前年よりやや減少傾向がみられる。価格は総じて前年並みが見込まれる。
	きゅうり		宮崎産主力の入荷で作付は前年並み。作況は12月の天候次第ではあるが、価格・入荷量ともに前年並みが見込まれる。
		レタス	高値
物	さつまいも	やや安値	茨城・徳島産が主力の入荷で作付は前年に比べ増反傾向である。作況は生育期の天候に恵まれ大玉傾向である。入荷量は前年より増加が見込まれる。価格は前年よりやや安値が見込まれる。

平成24年度 年末年始における (札幌市消費者センター)  
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水	新巻さけ	やや高値	北海道の秋さけ水揚げが前年比10%の減産となり、新巻さけの生産も減少し、価格は10～15%ほどの値上げとなっている。特に大型の新巻さけは、高値である。
	味付数の子		太平洋カナダ産はやや高値。 大西洋カナダ産（若子）は前年並み。
産物	いくら	高値	秋さけの水揚減少より高値で推移。
	飯寿司	やや高値	正月商材である「飯寿司」は、やや高値で推移する見通しである。
	まぐろ	前年並み (冷凍ばちまぐろは安値)	前年より、世界的な漁獲制限による日本への輸入量の減少で、価格は前年並みで推移中である。 なお、冷凍ばちまぐろについては、安値が予想される。
	いか	前年並み	生鮮・冷凍ともに、水揚げもほぼ前年並みとなっており、今年の年末もこの傾向で推移する見通しである。
	赤えび	高値 (アルゼンチン赤えびは安値)	輸入減により相場上昇。高値により需要は昨年より減少すると思われる。 なお、アルゼンチン赤えびについては、安値が予想される。
	はまち	やや安値 (ぶりは安値)	刺身商材として人気のある「はまち」は、安定して供給があり、価格も安定している。 なお、ぶりは道内でも水揚げが多く安値が予想される。
	たこ	高値	全道的に水揚げが減少しており、価格は上昇中。 この傾向は、年末まで続く見通しである。
	ほたて	やや安値	時化が多く水揚げ不安定ではあるが、冷凍貝柱の相場が前年より安いため、殻付生ほたても前年ほどは高くない。

平成24年度 年末年始における (札幌市消費者センター)  
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
水	たらばがに	やや安値	当初の高値から、ロシアの通関強化によるかけ込み搬入の増により、国内未消化在庫がふくらみ、相場下げ状態となる。(一時的な見方もある。)
	こんぶ	やや高値	道東のこんぶは、昨年につき生産量が少なく年内で終了。
産物	スモークサーモン	前年並み	贈答用として人気があり前発注が少ないものの、前年並みの価格で推移する見通しである。
	板かまぼこ		健康志向として人気があり、例年通り各社の企業努力により、前年並みの価格となっている。

平成24年度 年末年始における (札幌市消費者センター)  
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
畜	国産牛肉	高値	放射性セシウム問題から、時間経過と共に需要が回復。高額商品の年末・年始での販売が例年通り盛り上がりすると予想される。
	輸入牛肉	やや高値	米国産牛肉の年齢緩和が控えており、国内の輸入牛の在庫が少なくなっている。また、米国の穀物高による現地高。豪州産は他国の買い付けが強いことによる現地高となっており、やや高値が予想される。
産	国産豚肉	前年並み	定番商品としての安定需要。出荷は前年並み。大きな変化は考えられない。前半から中盤にかけては、輸入物の定番特売も見込めることから、相場上げは考えにくい。
	輸入豚肉		前半は輸入物、後半は国産物の動きからすると、国産価格の動向により影響を受けるため、価格の上げは考えにくい。
物	国産鶏肉	やや高値	震災に対する生産回復が一番早く、むしろ生産過多の状態であったが、生産調整が行われ出荷減、羽数不足のため、やや高値が予想される。極端な特売は少ないと予想される。
	輸入鶏肉		市場在庫過多も一巡し、更に輸入数量も減っており、価格回復が見込まれる。特売商品としての位置付けが高いが頻度が減少すると予想される。
	ロースハム	前年並み	ハム・ソーセージの中で一番需要が高いのはロースハム。便利で使い勝手がよいタイプが中心。ただし、年末・年始は、ブロック物も増える。

平成24年度 年末年始における (札幌市消費者センター)  
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
その他 食料 品	もち米	前年並み	主産地、北海道・九州ともに作柄が良好に推移しており、また、前年産の繰越在庫も多いことから、末端価格は前年並みか、やや下降傾向と推測される。
	黒豆	やや安値	前年に比べ作付面積が増加し、反収についても平年以上の生産見込みとなっているため、価格は前年を下回ると思われる。
	鶏卵	前年並み	震災の影響を受け高騰した昨年前半に比べ、価格は安値で推移してきたが、猛暑による生産減から大玉を中心に相場が持ち直した。年末にかけ、需要増により若干の価格上昇が見込まれ、前年並みの水準で推移すると思われる。
	生そば		そば粉の価格変動はあるが、価格転嫁できない状況である。
	そば粉		道内産は全体的に出来が良く価格は下げ傾向である。また、輸入ものについては、値上がり傾向であるが、商品には転嫁できず前年並み。
ラーメン	原料小麦の輸入物は若干の値下げ傾向であるが、道内産はやや高値。販売店や消費者の低価格志向が根強く、前年並みの低価格である。		



平成24年度 年末年始における (札幌市消費者センター)  
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
石 油 製 品	灯油	前年並み	需要減が続いており、需給状況は全く問題ない。
	レギュラー ガソリン		
	軽油		
	プロパンガス		輸入価格の上下動はあるが、価格は前年並みで推移すると思われる。供給量は確保されており、供給不足になる懸念はない。